

**リース事業での栽培設備新設が続いています！**

本当に暑い毎日が続いておりますが、いかがでしょうか。昨年の今頃は新農薬取締法の影響で混乱が見受けられましたが、1年経過したことによって、この暑さでも比較的順調に栽培されている方々がほとんどではないでしょうか。

さて今号はリース事業の話題です。施設園芸不況と言われて久しいですが、そんな中で一人気を吐いているのが、各地のJAが展開を進めているリース事業ではないでしょうか。JA海部(愛知県)さんでは、昨年度に第1期「平成15年度事業」2,000坪(品目みつば、レタス)、本年度は第2期「平成16年度事業」として2,600坪(品目みつば)と活発な事業展開を進めておられます。弊社は2期にわ

たりプラント部分を受注させていただきました。第1期では東方農園(みつば1,680坪)、神田農園(レタス247坪)でしたが、どちらも従前からの作目の増設目的のもので、現在では、どちらもフル回転で稼働しております。

第2期では天野農園(みつば543坪)吉川農園(みつば615坪)、黒田農園(みつば858坪)、水谷農園(みつば615坪)と4軒の農家さんと合計2,600坪の事業ですが、現在工事たけなわの状況です。今回の施設には、細霧装置、育苗施設、定植機導入など積極的に新技術導入を試みられ、安心・安全生産、省力化などを考慮した形となっております。この海部八開地域は、みつばの生産地と

して知られていますが、これだけの施設が完成すると、従前にも増して大きな生産量を確保することとなり、一大産地となります。どちらかという飽和気味のみつばで課題も山積していますが、新しい技術活用と大型化で打開していこうという前向きな取り組みです。

また、JA長生(千葉県)さんでは、トマト生産施設(6軒で3,761坪)を同じくリース事業として推進され、工事はこれからですが弊社が受注させていただきました。こちらも従前から栽培されていたトマトの増設ですが、関東方面で定着している産地名がさらに向上するのではないのでしょうか。(担当 川村庄一)

JA海部第1期事業での神田農園



JA海部第1期事業での東方農園



JA海部第2期事業での吉川農園



JA海部第2期事業での天野農園

